

マリコとオペラ！

～作家 林真理子のトーク・コンサート～

林真理子セレクトによる
珠玉のオペラ・アリアと魅惑のクロストーク



小林沙羅 (ソプラノ)



望月哲也 (テノール)



浦久俊彦 (ナビゲーター)



林真理子 (トーク)



河野紘子 (ピアノ)

2021.

3.24 (水)

18:45開演 [18:00開場]

三井住友海上しらかわホール

全席指定 (税込)

S席 8,500円 A席 7,000円 U25 2,000円

この公演は、2020年9月18日(金)の振替公演です。(9月18日のチケットをお持ちのお客様はそのままご入場いただけます。)

program

プッチーニ：歌劇「ジャンニ・スキッキ」より わたしのお父さん
歌劇「トゥーランドット」より 誰も寝てはならぬ
マスカーニ：歌劇「カヴァレリア・アルスティカーナ」間奏曲 (ピアノソロ)
プッチーニ：歌劇「ラ・ボエーム」より
冷たき手を、私の名はミミ、愛らしい乙女よ 二重唱
カタラーニ：歌劇「ラ・ワリー」より さよなら故郷の家よ ほか

プレイガイド

東海テレビチケットセンター
052-951-9104
(平日 10:00～18:00)
東海テレビ イベント
クラシック名古屋
052-678-5310

アイ・チケット 0570-00-5310 [アイ・チケット web](#) [検索](#)
チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 188-634)
ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード: 456663)
名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755
しらかわホールチケットセンター 052-222-7117
芸文プレイガイド 052-972-0430

※未就学児のご入場はお断りいたします。
※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順などが変更になる場合がございます。
その場合もチケットの払い戻しは承れません。ご了承ください。
※A席は2階バルコニーです。ホールの構造上、視界が遮られます。予めご了承ください。
※U25は、クラシック名古屋(電話)のみ取り扱い。
公演当日25歳以下、来場時に年齢確認有。お一人様1枚限り。
※車椅子席でご来場されるお客様は、ご購入前に必ずクラシック名古屋までお問合せください。

主催 東海テレビ放送 協賛 三井住友海上 協力 クラシック名古屋 企画・制作 浦久俊彦事務所

公演のお問合せ 東海テレビ放送 事業部 052-954-1107(平日 10:00～18:00)



一冊の名作は人生を語り、一曲の名曲は人生を謳う —— 今をときめく人気作家 × アーティストによる珠玉のトーク&コンサート

音楽に造詣が深く、オペラ好きで知られる作家・林真理子。自身で初めて脚本を手掛けたオペラ・ブッファ「狂おしき真夏の一日」（音楽：三枝成彰、演出：秋元康 2017年10月初演）は、その高い完成度で大絶賛を博しました。そんな林先生ご本人が三井住友海上しらかわホールに登場。稀代の歌手とピアニストが奏でる極上の「音楽」と、繰り広げられるトークによる「言葉」で、オペラの魅力に触れるステージをご堪能ください。



program

- 第1部：トーク・ステージ 「林真理子さんが語る～本とオペラのある人生」
- 第2部：コンサート・ステージ 「林真理子さんがセレクトする～オペラの名曲たち」
- 第3部：クロストーク・ステージ 出演者全員による「オペラに生きる人々たちとの対話」
- 第4部：プレゼント・ステージ 「出演者から贈るプレゼント曲」

Profile

林 真理子 (作家)

Mariko Hayashi (Novelist)

昭和29年(1954)4月1日、山梨県に生まれる。
昭和51年(1976)日本大学芸術学部文芸学科を卒業。
コピーライターを経て、
昭和57年(1982)エッセイ集「ルンルンを買ってうちに帰ろう」を出版。
昭和59年(1984)処女小説「星影のステラ」が直木賞候補に選出されたことを機に、執筆業に専念。
昭和60年(1985)『最終便に間に合えば』『京都まで』により第94回直木賞を受賞。
平成7年(1995)『白蓮れんれん』により第8回柴田錬三郎賞を受賞。
平成10年(1998)『みんなの秘密』により第32回吉川英治文学賞を受賞。
平成12年(2000)直木賞選考委員に就任。他、数々の文学賞の選考委員を務める。
平成23年(2011)レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ受賞。
平成25年(2013)『アスクレピオスの愛人』により第20回島清恋愛文学賞を受賞。
平成30年(2018)紫綬褒章受章。
著書
『ミカドの淑女』『女土』『不機嫌な果実』『着物をめぐる物語』『年下の女友だち』『anego』『アッコちゃんの時代』『ウーマンズ・アイランド』『RURIKO』『下流の宴』『本朝金瓶梅』『秘密のスイーツ』『六条御息所源氏がたり』『野心のすずめ』『正妻』『フェアバリット・ワン』『STORY OF UJI』『マイストーリー私の物語』『ビューティーキャンプ』『私のスポットライト』『中島ハルコはまだ懲りてない!』『我がパラダイス』『西郷どん!』『愉楽にて』『マリコを止めるな!』『女はいつも四十雀』『女の偏差値』『綴る女』等。



小林沙羅 (ソプラノ)

Sara Kobayashi (Soprano)

東京藝術大学及び同大学院修了。2010年度野村財団奨学生、2011年度文化庁新進芸術家在外研修員。2014年度ROOMミュージックファンデーション奨学生。2010～15年ウィーンとローマにて研鑽を積む。2006年「バステアンとバステイエンヌ」でデビュー後、東京芸術劇場「トゥーランドット」リユー、兵庫県立芸術文化センター「こもりアデーレ/『魔弾の射手』エンヒェン、新国立劇場「バルジファル」花の乙女等に出演。2012年ブルガリア国立歌劇場「ジャン・スキッキ」ラウレッタで欧州デビュー。2015年野田秀樹演出「フィガロの結婚」スザンナ、2017年藤原歌劇団「カルメン」ミカエラ、2019年全国共同制作オペラ「ドン・ジョバンニ」、2020年には「紅天女」タイトルロール役等話題作に続々出演。2019年11月、日本コロムビアより3枚目のCDアルバム「日本の詩」をリリース予定。2017年第27回出光音楽賞受賞。2019年第20回ホテルオークラ賞受賞。日本声楽アカデミー会員。藤原歌劇団団員。大阪芸術大学准教授。



望月 哲也 (テノール)

Tetsuya Mochizuki (Tenor)

東京藝術大学卒業。同大学院及び二期会オペラスタジオ修了。文化庁在外派遣研修員としてウィーンに留学。国内では東京二期会「皇帝テイトの慈悲」タイトルロール、新国立劇場「夜叉ヶ池」晃、『魔笛』タミーノ、『サロメ』ナラポート、びわ湖・神奈川県民ホール「ラ・ボエーム」ロドルフォ、びわ湖ホール「ワルキューレ」ジークムント等に出演。コンサートに於いてはバッハ「マタイ受難曲」福音史家をはじめ、教会音楽やオラトリオ作品など40作品以上のレパートリーを有している。18年C.デュトワ指揮「サロメ」(上海公演)ナラポートに出演。本年6月大阪国際フェスティバル「サロメ」ナラポートに続き、20年6月オペラ夏の祭典「マイスタージンガー」ダーヴィットで出演予定。CDは「Il mio tesoro」、「Amarilli」に続き、第三弾「ひそやかな誘い～R.シュトラウス歌曲集」をリリース。豊富な美声で注目の男声オペラユニット「IL DEVU」ならびに「MOZART SINGERS JAPAN」メンバー。二期会会員



河野 紘子 (ピアノ)

Hiroko Kohno (Piano)

札幌市出身。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て同大学研究科を修了。高校、大学ピアノ卒業演奏会に出演。これまでに「東京・春・音楽祭」や「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」などの音楽祭に出演。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」やBS-TBS「日本名曲アルバム」などメディアでの出演も重なっている。桐朋学園大学声楽科嘱託演奏員、現在は二期会研修所ピアニスト、NHKカルチャーセンター青山教室講師を務める。声楽・器楽などとのアンサンブルや透明感のある美しい音色に定評があり、CD録音にも多数参加している。また、フジテレビで放映されたドラマ「のだめカンタービレ」の主人公(上野樹里)の手・音の吹き替え、現場での指導を担当するなど、多方面へ活動の幅を広げている。
<公式サイト> <http://www.hirokokohno.com>



浦久俊彦 (ナビゲーター)

Toshihiko Urahisa (Navigator)

文筆家、文化芸術プロデューサー。サラマンカホール音楽監督、代官山未来音楽塾塾頭、一般財団欧州日本芸術財団代表理事、三島市文化アドバイザー。パリを拠点に文化芸術プロデューサーとして活躍。帰国後、三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターを経て、現在、浦久俊彦事務所代表。多彩なアーティストのオリジナル企画を手がけ、文化芸術ナビゲーターとしても全国で活躍している。また、日本とヨーロッパの文化交流活動、音楽をよりよい社会創りに活かす人材の育成、地域の音楽文化の振興など、その活動は多岐にわたる。著書に「フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか」、「悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト」(以上、新潮社)「138億年の音楽史」(講談社)などがある。
公式ホームページ: <http://www.urahisa.com>



◆ご来場のお客様へのお願い

- 平熱と比べて高い発熱がある場合や咳などの症状や体調にご不安がある方はご来場をご遠慮ください。
- 入場時には検温にご協力ください。お時間に余裕を持ってご来場ください。万一、37.5度以上の発熱がある場合は入場をお断りさせていただきます。
- ご来場の際は、マスクの着用・手洗い・消毒など十分な感染予防をお願いいたします。
- ホール内の換気による外気との寒暖差が発生する場合がございますので、服装にご配慮ください。ブランケット等の貸出はございません。

- 客席内ではマスクを着用し、会話を控え、自席で静かにお過ごしください。
- ロビー、ホワイエでは人との間隔を1m以上離し、会話はなるべくお控えください。
- 今後の状況により、座席の変更をお願いする場合がございます。(既にご購入いただいたお客様を含む)
- 会場内で新型コロナウィルスの感染が疑われる来場者が発生した場合、行政機関・保健所の指導のもとに、主催者として、チケット購入者の個人情報収集し、提供する場合があります。ご了承ください。

◆会場内の対策について

- 全ての出演者・スタッフは、会場入りする前に検温し、体調状態の確認(記録)をいたします。
- 会場スタッフは全員マスクを着用いたします。
- 会場内、座席などの消毒や清掃を徹底いたします。
- クローク、ビューフェコーナは当面の間、閉鎖いたします。

※上記の内容は、今後の状況により変更させていただく場合がございます。ご了承ください。